

令和7年第14回沖縄県教育委員会（定例会）議事録

1 開会及び閉会に関する事項

令和7年12月18日 午後3時開会

午後4時30分閉会

2 出席者及び欠席委員の氏名

(1) 出席者

教育長 半嶺 満

委 員 比嘉 佳代

委 員 宮城 光秀

委 員 辻上 弘子

委 員 小濱 守安

(2) 欠席委員

委 員 大城 進

3 説明のため会議に出席した職員の職氏名

教 育 管 理 統 括 監	田代 寛幸	教 育 指 導 統 括 監	崎間 恒哉
参	事 諸見 友重	事 参	伊波 寛仁
総 務 課	長 平田 直樹	総 務 課 財 務 班 長	向里 総子
学 校 人 事 課	長 東 哲宏	県立学校教育課特別支援教育室長	稻田 政博
学校人事課小中学校人事管理監	古謝 将史		

4 議事関係

(1) 開会

半嶺教育長が開会を宣告した。

(2) 非公開の決定及び議事日程の決定

議案第2号は人事に関する案件であることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第14条第7項の規定により非公開とすることが全会一致で決定された。また、議事日程は会議資料記載の日程案のとおりとすることが決定された。

(3) 令和7年第13回議事録の承認

全会一致で、令和7年第13回議事録を承認した。

(4) 議事録署名人の指名

半嶺教育長が小濱委員を議事録署名人に指名した。

(5) 教育長職務代理者の指名

「沖縄県教育委員会会議規則」第2条の規則により、半嶺教育長は、比嘉委員に替えて、大城委員を教育長職務代理者に指名し、大城委員はこれを受諾した旨、事務局から報告された。

(6) 報告事項

報告事項1 教育委員会の権限事務に係る教育長の臨時代理（県議会議案「令和7年度沖縄県一般会計補正予算（第6号）」に対する意見）

【説明（総務課長）】

教育委員会の権限事務に係る教育長の臨時代理（県議会議案「令和7年度沖縄県一般会計補正予算（第6号）」に対する意見）について資料に基づき、報告を行った。

【質疑等】

○質疑なし

報告事項2 教育委員会の権限事務に係る教育長の臨時代理（県議会議案「義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置条例及び沖縄県職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例」に対する意見）

【説明（学校人事課長）】

教育委員会の権限事務に係る教育長の臨時代理（県議会議案「義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置条例及び沖縄県職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例」に対する意見）について資料に基づき、報告を行った。

【質疑等】

○質疑なし

報告事項3 令和7年度実施沖縄県公立学校教員候補者選考試験等の実施結果について

【説明（学校人事課長）】

令和7年度実施沖縄県公立学校教員候補者選考試験等の実施結果について資料に基づき、報告を行った。

【質疑等】

○辻上委員 特別選考の実施状況に関して、他県本務経験者が志願者、受験者ともに昨年度の倍以上に増えていますが、周知にあたって、どのような工夫をなされたのでしょうか。

○学校人事課長 「結・U I（ゆい・ゆい）特別選考」につきましては、今年度初めて東京でも面接を実施し、北海道などからの受験者もいました。また経験者に限らず、ここ数年は、県内外の就職セミナー等に学校人事課として積極的に参加しております。その効果が出たと考えており、実際に、セミナーに来られていた他県本務経験者が受験されています。

○辻上委員 地道な種まきがよくわかりました。志願者が全体的に昨年度に比べて減少するという厳しい状況にあって、最終合格者が昨年度を大きく上回ったということは誠に評価すべき成果と思っております。とりわけ特別選考の中の他県本務経験者は、いわゆる初任者研修を修了済みですので、教員配置、経験や技能においても、即戦力となる対象者への周知が着実に進んで、多様な人材の確保につながったという点では、学校人事課の的確な判断と継続的な取組、粘り強い種まきの賜物であって、本当によくやったと申し上げたい気持ちでいっぱいです。教育現場を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、いわゆる工夫と、

それから挑戦を恐れずに人材確保に成果を上げられたことは、今後の施策展開においても大きな自信につながると考えます。今後もこれまで同様、採用後の定着支援や若手教員の育成に一層力を入れてくださいますようお願いします。引き続き、東課長を中心に、現場の声に寄り添いながら、質の高い教職員の確保と育成に向けた取組を期待しております。

○小濱委員 小学校の受験倍率の2.2倍という数字を危惧しております。受験倍率は年々低下しておりますが、教師の質の担保に関わる大きな問題であり、今回の数字はかなり危機的ではないかと考えます。ぜひ次年度、受験倍率、受験者数を増やすための方策を講じていただきたいです。全国的にも小学校の受験倍率が下がっていることは承知していますが、小学校は子どもたちの学校生活の始まりですので、ここで優秀な教師が集まることで、その後の子どもたちの学業の改善にもつながると思いますので、ぜひお願いいたします。

○比嘉委員 今回、中学校が1名減であり、伸び悩みがあると思います。募集している教科で定員が集まらなかった教科はあるのでしょうか。

○学校人事課長 例えば、中学校の理科など、中高ともに理系人材が受験されないという現状がございます。いろんな手立てを尽くして人材の確保に努めていきたいと思っております。

○比嘉委員 専門科目の教員志願者の募集は一段と大変だと思いますが、工夫して、更なる採用ができればと思います。

報告事項4 令和8年度沖縄県立特別支援学校高等部入学定員について

【説明（県立学校教育課特別支援教育室長）】

令和8年度沖縄県立特別支援学校高等部入学定員について資料に基づき、報告を行った。

【質疑等】

○比嘉委員 全て志願前相談があった人数で定員を設けていますか。それとも、志願前相談はないが、あらかじめ緊急対策のために定員を設けたという学校はございますか。

○県立学校教育課特別支援教育室長 全て志願前相談のあった人数で定員を設けています。

○比嘉委員 わかりました。昨年は盲学校やろう学校で志願前相談がなかったという話がありましたが、今年度は特ないのでしょうか。

○県立学校教育課特別支援教育室長 幼稚部の件でしょうか。

○比嘉委員 はい。

○県立学校教育課特別支援教育室長 今年度はこれまでございません。

(7) 議案審議

議案第1号 沖縄県教育庁組織規則の一部を改正する規則について

【説明（総務課長）】

沖縄県教育庁組織規則の一部を改正する規則について資料に基づき、説明を行った。

【質疑等】

○質疑なし

【採決の結果】

全会一致により、原案のとおり可決された。

議案第2号 学校職員の人事について（非公開）

(8) その他

【比嘉委員退任挨拶】

○比嘉委員 皆様、私は12月31日をもちまして、沖縄県教育委員の職を退任することになります。

私が就任いたしました令和4年は、本土復帰50周年という大きな節目であるとともに、コロナ渦から回復の兆しが見え始め、教育現場が大きな転機を迎えた年でもありました。当時、学校ではGIGAスクール構想が本格始動し、オンラインでの国際交流や新しい学びの形が模索されている中、私自身も、これから時代にふさわしい教育とは何かを常に考えてまいりました。

私は保護者代表の立場として職を拝命いたしました。現在、息子が支援学校に通っており、その親としての視点や実感を踏まえ、令和4年度から強化された校内自立支援室の整備や不登校支援、そして何より特別支援教育の充実について、現場の声を届けることに微力ながら尽力してまいりました。

「多様な学びのニーズを持つ子どもたちが誰一人取り残されることなく、その個性を輝かせることのできる環境づくり」、これが私の任期を通じて最も大切にしてきた信念でございます。また、日頃は保育園や児童デイサービスの経営に携わっていることから、就学前の幼児教育や福祉の重要性、そして組織運営という経営者の視点からも意見を述べさせていただきました。

教育は学校の中だけで完結するものではないと思っております。家庭・地域そして保育や福祉の現場が手を取り合う、社会総がかりでの教育の重要性をここ数年間で改めて痛感いたしました。この4年間で国際情勢の不安定化や物価高騰など、子どもたちを取り巻く環境は決して平たんではありませんでした。しかし、沖縄の宝である黄金童たちの瞳には未来を切り拓く強い力が宿っていると思っております。

最後になりますが、これまで支えてくださった教育委員会の皆様、学校現場の先生方、そして地域の皆様に心より感謝を申し上げます。退任後は、一市民、一保護者、そして保育現場に立つものとして、沖縄の教育の発展を心から応援し続けてまいります。

不慣れでございまして、生意気なことをたくさん言い、皆様を困らせたこともあったと思

いますが、これまでありがとうございました。これからもがんばってください。

【半嶺教育長挨拶】

○教育長 代表して私の方からお礼の言葉を述べさせていただきます。比嘉委員におかれましては、4年間、保護者委員としての立場から、特別支援教育や不登校対策などに関して多くのご提言をいただきました。また、保育園、学童保育、放課後デイサービス等を展開する会社の代表としての専門的な視点から、働き方改革やメンタルヘルスなど、貴重なご提言をいただきました。4年間のご尽力に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

比嘉委員からいただいたご提言をしっかりと受け止め、保護者の視点・生徒の視点・福祉の視点を踏まえ、次代の流れを見極めながら、教育行政のためにがんばってまいります。比嘉委員におかれましては、これからも様々な場面において、ご助言をいただく機会があると思います。引き続きよろしくお願ひいたします。本当にありがとうございました。

(9) 閉会

半嶺教育長が閉会を宣言した。